

長野良市 &
防災専門図書館

「ゼロの阿蘇」 防災専門図書館

写真展 & 企画展

平成28年

明治22年

熊本地震



写真展「ゼロの阿蘇」

Photo by 長野良市

◆ 阿蘇在住写真家、長野氏が熊本地震発生前後から地元を撮り続けた写真と、

◆ 127年前に発生したもう一つの熊本地震をはじめ、明治の災害資料を紹介するコラボ企画展

主催：防災専門図書館
共催：(一社)九州学び舎

会場：東京都千代田区平河町2-4-1 日本都市センター会館8F
会期：2016年8月15日(月)～10月31日(月)
平日 9～17時 (土日祝 休館)
最寄駅：地下鉄 永田町駅 (9番 b出口) 徒歩3分
問合せ：03-5216-8716 <http://www.city-net.or.jp/library/>

入館無料



長野良市プロフィール

略歴

- 1957年 熊本県阿蘇に生まれる
- 1975年 熊本県立大津高等学校卒業(高・28回卒業)
- 1983年 青山学院大学卒業後、日本写真芸術専門学校報道科卒業
- 1987年 初個展「シルクロード-はるかなるトルファン、フフオトからウルムチまで」(熊本、湯布院などにて)
- 1993年 平成5年度文化庁国内インターンシップ研修生(阿蘇の民俗の研究と撮影に対して)
- その後、様々なテーマで東京、大阪、イギリス、アメリカなどで写真展多数

最近10年の写真展

- 2005年4月「桜爛漫-九州・沖縄の桜」(東京ペンタックスフォーラム)
- 2006年3月「東シナ海の風をうけて 南の国の桜」(東京目黒、ギャラリーコスモス)
- 2006年4月「九州の桜」(熊本、崇城大学ギャラリー・富士フォトギャラリー大阪)
- 2009年「大河の源流 -黄河・長江-」
(東京・ペンタックスフォーラム、京都・iギャラリー、広島・大聖院、福岡・共星の里 黒川INN美術館、湯布院・由布院駅アートホール、熊本・熊本県立美術館分館、東京目黒、ギャラリーコスモス大阪)
- 2014年 オリンパスギャラリー大阪)
- 2012年 長野良市の旅の話「東シナ海の風の道」(熊本・つなぎ美術館)

主な写真集

- 1992年 「阿蘇」時事通信社刊
- 1993年 「阿蘇南外輪山」久木野村刊、熊日情文センター制作
- 1997年 「阿蘇・宇宙」熊本日日新聞社刊、第19回熊日出版文化賞受賞
- 1998年 「不知火の風、津奈木四季彩」津奈木町刊、熊日情文センター制作
- 2003年 「阿蘇遺産」(財)阿蘇地域振興デザインセンター
- 2006年 「九州・沖縄の桜」福岡、海鳥社刊
- 2009年 「大河の源流-黄河・長江-」東京、河出書房新社刊、第45回熊本県文化懇話会新人賞受賞

過去の主な作品掲載と仕事

週刊「アサヒグラフ」、月刊「家の光」、「文芸春秋ヴィジュアル文庫」、月刊「自治研」、博品社「日本の名山、阿蘇」、熊本日日新聞社フォトルポ「南郷の暮らし」「それぞれの戦争」「写ウオーク」、熊本県広報紙「くまもとの風」センターページ、(株)住友林業カレンダー、月刊「日本カメラ別冊」、月刊「四季の写真」(学研)・「CAPA 撮影地シリーズ」(学研 CAPA)、月刊「カメラマン」・「別冊カメラマンEX」(モーターマガジン社)、「フクオカスタイル」(星雲社)、(財)グリーンストック機関誌、月刊「モコス」など、他多数。

海外取材地

アメリカ合衆国、中国、韓国、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、タイ、ロシア、「東アジアの中の九州」をテーマに朝鮮半島、九州、南西諸島、台湾、中国大陸沿岸を継続取材。特にこの8年、黄河・長江源流域に通う。

次世代のために残したいもの

阿蘇の草原 不知火海・有明海の干潟 日本の食文化 日本人の繊細な心くばり 美意識 ふるさと。

現在

(公社)日本写真家協会会員、(公社)日本写真協会会員、(協)日本写真家ユニオン、ピンホール写真芸術学会会員、日本旅行写真家協会会員、熊本県文化懇話会会員、熊日写真教室講師

現在

株式会社阿蘇アースライブラリー・代表取締役、一般社団法人九州ふるさと元気ネットワーク・代表理事、阿蘇トラベルデスク・マネージャー、熊本ツーリズムコンソーシアム会員